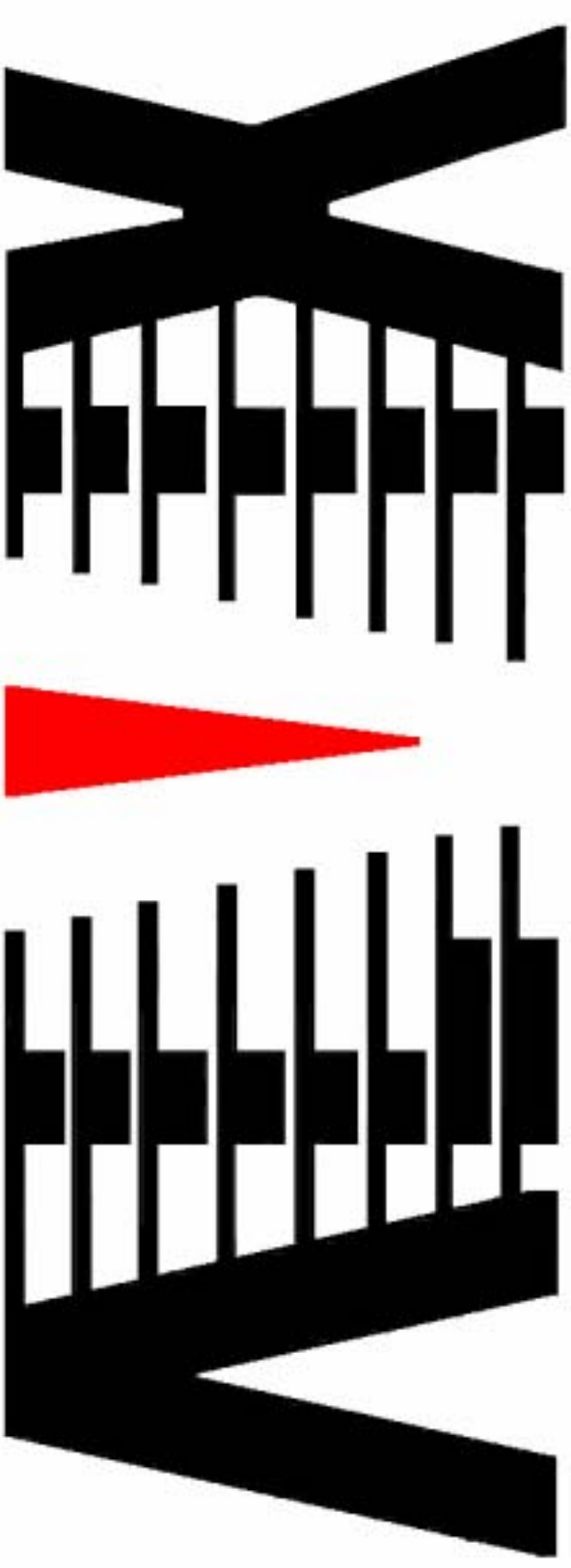
“アルビクス”４面メモリ内蔵２ｃｈＳＤＩキーヤー
＜ＭＳＫ－４１２＞

取扱説明書

Ｖｅｒ．２．０



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。もし不明点が有れば、販売店か弊社におたずね下さい。

付属品

取扱説明書	・・・	1
AC コード（3 メートル）	・・・	1
本体取付金具（EIA ラック取付用）	・・・	1組
（ビス M4×6）	・・・	6個
保証書	・・・	1

目次

●注意事項 ・・・ 2ページ

●仕様 ・・・ 3ページ

●概略回路図

●概要・特長 ・・・ 4ページ

●各部の説明 ・・・ 6ページ

本体フロントパネルの説明 ・・・ 6ページ

本体リアパネルの説明 ・・・ 7ページ

コントロールパネルの説明 ・・・ 8ページ

●機能 ・・・ １０ページ

●制御 ・・・ １１ページ

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く、
埃の多い所、強い磁力のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、
激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所。
（故障の原因となります。）

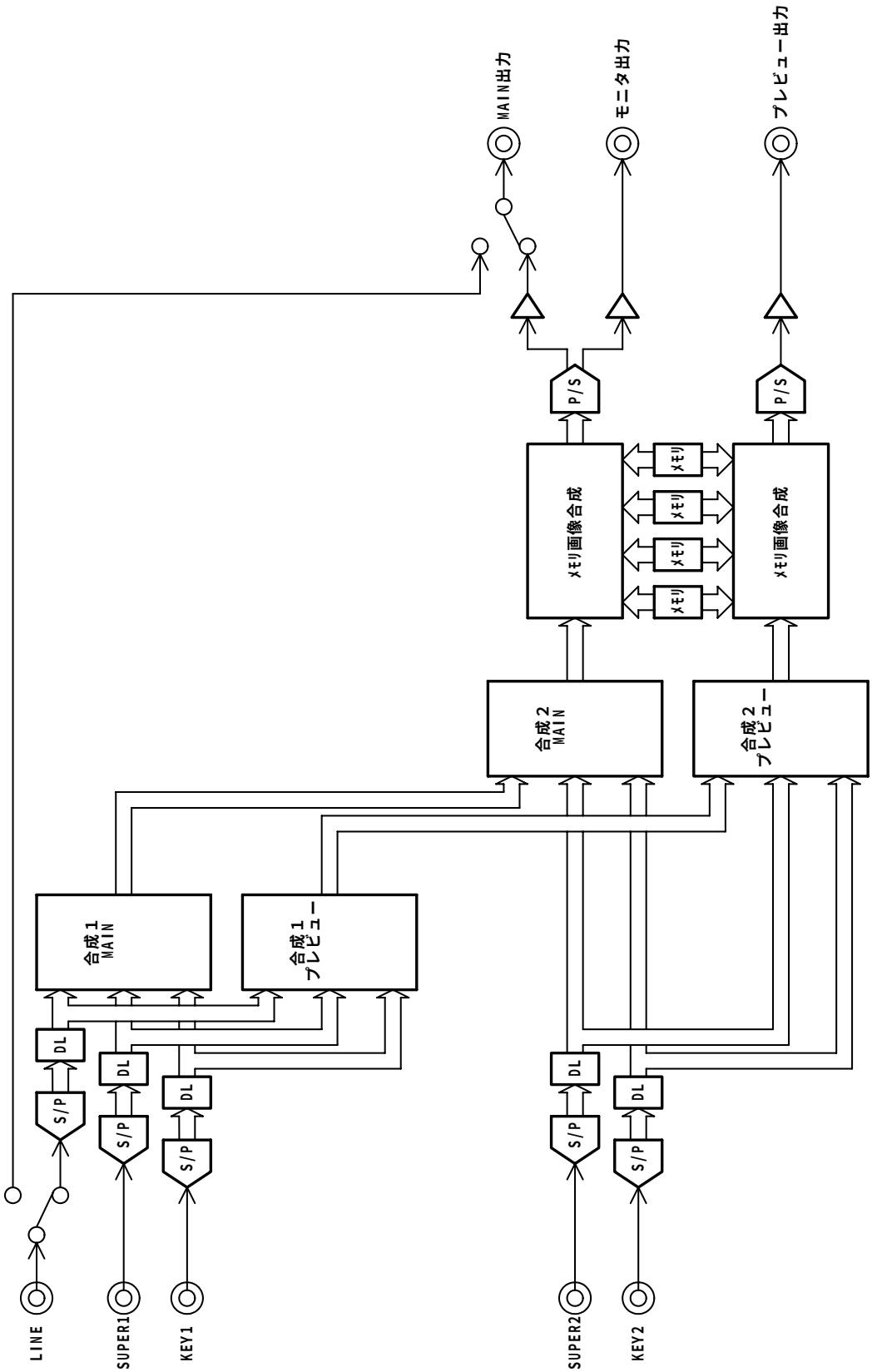
仕様　（モデル　　ＭＳＫ－４１２）

映像入力	信号形式	ＳＤＩ（Ｄ１）信号
	ライン信号入力（ＬＩＮＥ）	１系統※
	スーパー信号入力 （ＳＵＰＥＲ１、２）	２系統
	キー信号入力（ＫＥＹ　１、２）	２系統
	入力接栓	ＢＮＣコネクタ
映像出力	信号形式	ＳＤＩ（Ｄ１）信号
	メイン出力	１系統※
	モニタ出力	１系統※
	プレビュー出力	１系統
	出力接栓	ＢＮＣコネクタ
外形寸法		Ｗ４３０×Ｈ８８×Ｄ４２１
重量		約　１０　ｋｇ
電源電圧		ＡＣ８５　～　１３２Ｖ
消費電力		約　４０　Ｗ
使用温度		５℃　～　４０℃

※ライン入力及び出力は SDI Embedded AUDIO に対応します。

※仕様、外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

ＭＳＫ－４１２概略回路図（映像信号の流れ）



概要

主信号２ｃｈの副信号と内蔵した４面メモリを同時または個別の他、いろいろな組み合わせでカラー合成することができるＳＤＩ（ＳＭＰＴＥ２５９Ｍ－Ｃ）入出力キーヤーです。

特長

１．合成キーは副信号毎のキー入力から抽出します。キー入力が無い場合は副信号入力の輝度成分から作成されます（セルフキー）

２．副信号２ｃｈは合成キーに階調をもたせることができますので、スムーズな合成ができます。（ゲイン、しきい値により設定）

３．副信号２ｃｈは合成ＯＮ／ＯＦＦの切替（切り替え開始から終了までの）時間をフレーム数で設定できます。
副信号毎に０、５、１０、１５、２０、２５、３０、４５、５０、６０、７５、９０フレームの１２段階設定可能です。（設定０は切替時間制限なしとなります。）

４．合成キーの抽出はゲイン、しきい値ともに各０～１００の範囲で調整が可能です。

５．合成キー抽出のゲイン、しきい値はコントローラにて調整値を４つメモリ登録・呼出することができます。

６．合成キー抽出のゲイン、しきい値はコントローラにて操作中の値をロックすることができます。

７．内蔵４面メモリの書き換えはＲＳ－４２２Ａ通信経由で行ないます。付属のＷｉｎｄｏｗｓ用ソフトウェアにてコントローラから容易に行なうことができます。

８．プレビュー出力を持っています。

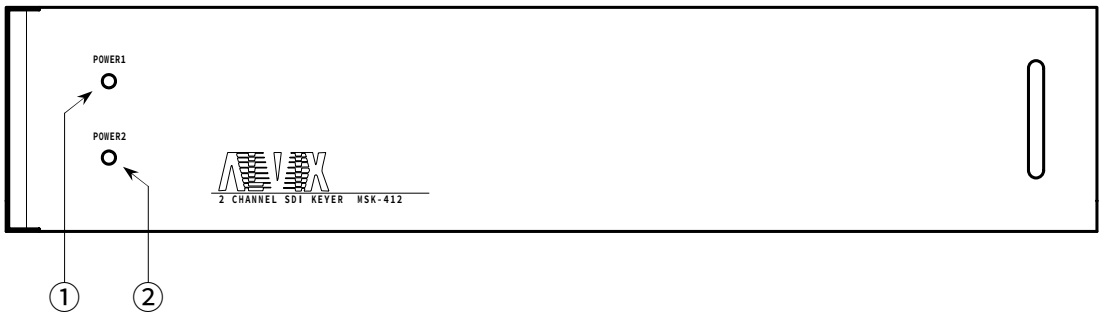
９．キーヤー本体は電源ユニットを２重化（並列運転）、動作状態で電源ユニットの交換が可能です。

１０．電源ＯＦＦ時は主信号入力が、リレー接点を介してループスルーされます。（モニタ・プレビュー出力はＯＦＦになります。）

１１．キーヤー本体とコントローラはＲＳ－４２２Ａで接続されます。

各部の説明

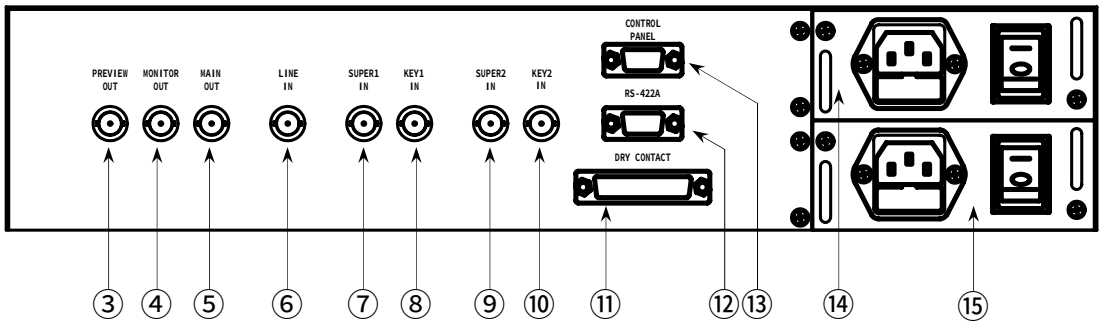
【本体フロントパネルの説明】



①　　電源１ＬＥＤ
　　電源ユニット１の動作状態を表します。

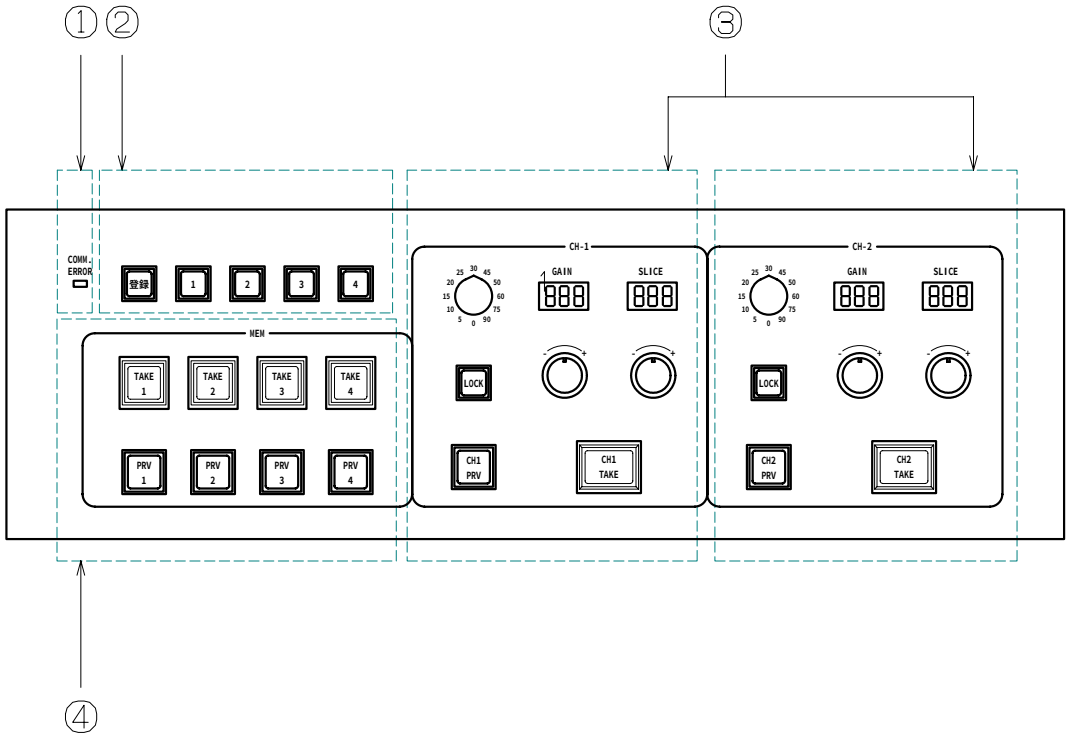
②　　電源２ＬＥＤ
　　電源ユニット２の動作状態を表します。

【本体リアパネルの説明】



③　プレビューアウトコネクタ
　プレビュー用出力コネクタです。
④　モニターアウトコネクタ
　メイン信号のモニター出力用コネクタです。
⑤　メインアウトコネクタ
　メイン信号を出力します。
⑥　ラインインコネクタ
　主信号を入力します。
⑦　スーパー１インコネクタ
　１ｃｈ目のスーパー信号を入力します。
⑧　キー１インコネクタ
　１ｃｈ目のキー信号を入力します。
⑨　スーパー２インコネクタ
　２ｃｈ目のスーパー信号を入力します。
⑩　キー２インコネクタ
　２ｃｈ目のキー信号を入力します。
⑪　接点入出力コネクタ
　接点入出力コネクタです。（D-sub２５ピン　female）
⑫　ＲＳ－４２２Ａコネクタ
　内部メモリを書き換えるコネクタです。（D-sub９ピン　male）
⑬　コントロールパネルコネクタ
　本体を制御するコントローラを接続するコネクタです。（D-sub９ピン　male）
⑭　電源ユニット１
⑮　電源ユニット２

【コントロールパネルの説明】



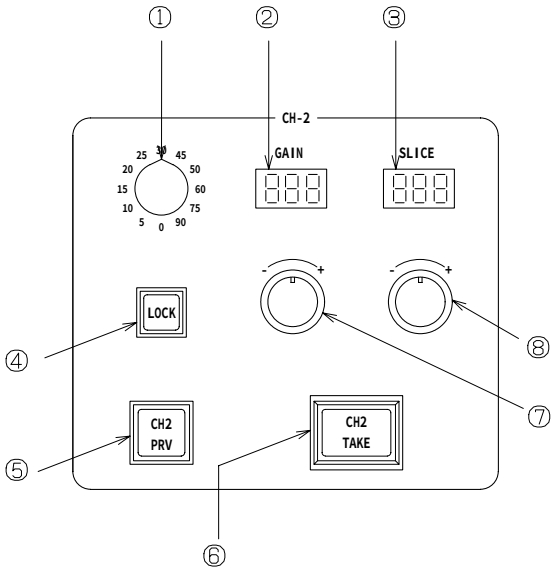
① コミュニケーションエラーＬＥＤ
ＭＳＫ－４１２本体とコントロールパネル間の通信にエラーが発生した場合、このＬＥＤが点灯します。

② 設定メモリスイッチ
副信号１、２のＧＡＩＮ、ＳＬＩＣＥ設定値をメモリしておくスイッチです。

③ 副信号設定・合成部
副信号１，２の合成スピード、ＧＡＩＮ，ＳＬＩＣＥ値設定とプレビュー、ＴＡＫＥ合成等を行います。

④ 内蔵メモリ合成部
あらかじめ内蔵している４つのメモリを表示するスイッチです。上段がＴＡＫＥスイッチ、下段がプレビュースイッチ。

【副信号の調整方法】



各部の名称

①合成スピード設定ロータリースイッチ

ライン信号と副信号の合成のスピードを設定します。値はフレーム数です。

②ゲイン値

⑦のロータリースイッチで設定した値を表示します。

③スライス値

⑧のロータリースイッチで設定した値を表示します。

④キーロックスイッチ

キーロックをかけます。

ロックがＯＮのとき、⑦，⑧のスイッチを回しても値の変化はありません。

⑤プレビュースイッチ

現在設定した状態をプレビューアウトに出力します。

⑥ＴＡＫＥスイッチ

現在設定した状態をメインアウトに出力します。

⑦ゲイン値調整ロータリースイッチ

ゲイン値を調整します。

⑧スライス値調整ロータリースイッチ

スライス値を調整します。

機能

１．キー合成

　　ライン入力に入力した映像に、スーパー１及び２に入力した映像をキー合成します。

　１）キーの抽出

　　合成キーは、キー入力に入力されるキー信号の輝度レベルから抽出されます。抽出時に、ゲイン及びしきい値を０～１００の間に設定することができ、キー合成の具合が調節可能です。ゲイン及びしきい値は、キー合成１，２個別に設定できます。

　　また、キーに入力が無い場合は、スーパー信号の輝度レベルから合成キーを抽出します。（セルフキー）

　２）ＯＮ／ＯＦＦ切替時間の設定

　　合成ＯＮ／ＯＦＦの切替開始から終了までの時間を設定できます。設定は、0,5,10,15,20,25,30,45,50,60,75,90フレームの１２段階で、キー合成１，２個別に設定できます。

　３）プレビュー

　　メインと、プレビューは個別に合成ＯＮ／ＯＦＦが設定できますので、本線ＴＡＫＥ前にプレビュー出力映像で合成の具合を確認できます。

２．内部メモリ画像合成

　　本体内部のメモリに保存した４種類の静止画像を合成します。

　　４種の本体内部メモリには、それぞれ７２０×４８０ドットのビットマップファイルが登録できます。

　１）内部メモリ画像の書き換え

　　メモリ画像は、コントローラから専用のソフトウェアを使用しＲＳ－４２２経由で書き換えます。コントローラから書き込まれた画像は、本体内のフラッシュメモリに保存されます。

　２）プレビュー

　　メインと、プレビューは個別に合成ＯＮ／ＯＦＦが設定できます。

※１　ライン入力、スーパー入力１，２、キー入力１，２はゲンロックしていることが必要です。

※２　合成の優先順位は、

内部メモリ１＞内部メモリ２＞内部メモリ３＞内部メモリ４＞キー合成２＞キー合成１

となります。

※３　内部メモリ合成中は書き換えたメモリ画像が出力に反映されません。メイン及びプレビューの全てのメモリ画像合成を一度 OFF にする必要があります。

制御

１．外部接点制御

１）接点制御

キー合成１，２、内部メモリ合成１，２，３，４を外部接点で制御することができます。各制御入力 Pin をＧＮＤに短絡することで、それぞれの合成がＯＮとなります。また、接点入力の状態がタリー出力されます。

２）コントローラ制御と接点制御の関係

制御に関しては、コントローラからのＴＡＫＥが優先となります。
このため、コントローラからの合成ＯＮを接点制御でＯＦＦすることはできません。
逆に、リモートからのＴＡＫＥをコントロールパネルでＯＦＦすることができます。

合成ＯＦＦ時は、接点制御でもコントローラからでもＯＮすることができます。

３）エラー出力

電源アラーム、CPU アラームを外部接点コネクタから出力します。

４）外部接点コネクタ仕様

D-sub25Pin　female　（勘合ネジ　M2.6×0.45）

1	内部メモリ合成１ 接点入力	14	内部メモリ合成１ ﾀﾘｰ出力
2	内部メモリ合成２ 接点入力	15	内部メモリ合成２ ﾀﾘｰ出力
3	内部メモリ合成３ 接点入力	16	内部メモリ合成３ ﾀﾘｰ出力
4	内部メモリ合成４ 接点入力	17	内部メモリ合成４ ﾀﾘｰ出力
5	キー合成１ 接点入力	18	キー合成１ ﾀﾘｰ出力
6	キー合成２ 接点入力	19	キー合成２ ﾀﾘｰ出力
7	――――	20	CPU アラーム出力
8	ＧＮＤ	21	
9	電源１アラーム 接点出力	22	電源１アラーム 接点出力
１０	電源２アラーム 接点出力	23	電源２アラーム 接点出力
１１	――――	24	――――
１２	――――	25	――――
１３	――――		

※タリー出力、CPU アラーム出力 ：最大　ＤＣ１２Ｖ　４００ｍＡ
　電源アラーム接点出力　　：最大　AC125V 0.5A / DC30V 1A

２．内部メモリ書き換え

１）内部メモリ画像の書き換え

メモリ画像は、ＰＣから専用のソフトウェアを使用しＲＳ－４２２Ａ経由で書き換えます。ＰＣから書き込まれた画像は、本体内のフラッシュメモリに保存されます。

４種の内部メモリ画像は、それぞれ７２０×４８０ドットのビットマップとして、登録されます。

【メモリ書き換えソフトウェア概略説明】

[ﾌｧｲﾙ]メニュー ： [開く]
テロップデータファイルを開きます。

[ﾌｧｲﾙ]メニュー ： [フォーマットを開く]
テロップフォーマットファイルを開きます。

[ﾌｧｲﾙ]メニュー ： [保存]
テロップデータをファイルに保存します。

[ﾌｧｲﾙ]メニュー ： [フォーマットを保存]
テロップデータの位置やフォントをファイルに保存します。

[ﾌｧｲﾙ]メニュー ： [終了]
このユーティリティを終了します。

[ﾎﾟｰﾄ]メニュー　使用する RS-232C のﾎﾟｰﾄ番号を設定します。

[ﾍﾙﾌﾟ]メニュー　Help を表示します。

[Telop 設定]タブ： [図形設定]
２つのテロップ用ビットマップ図形ファイルを設定します。図形-1/2 ボタンをクリックしてファイルを選択します。

[Telop 設定]タブ： [文字設定]
４つのテロップ用文字を入力します。１テロップに５行まで入力できます。
すべてを入力する必要はありません。また、とびとびに入力してもかまいません。

[Memory]タブ　： [MUX チャンネル指定]
ボックスの右端のボタンを押して、表示されるチャンネル名をクリックします。
名前は、
[MUX 設定]タブ ： [MUX チャンネル名]
で設定します。

[Memory]タブ　： [透過率]
0%，25%，50%，75%の４つから選択します。

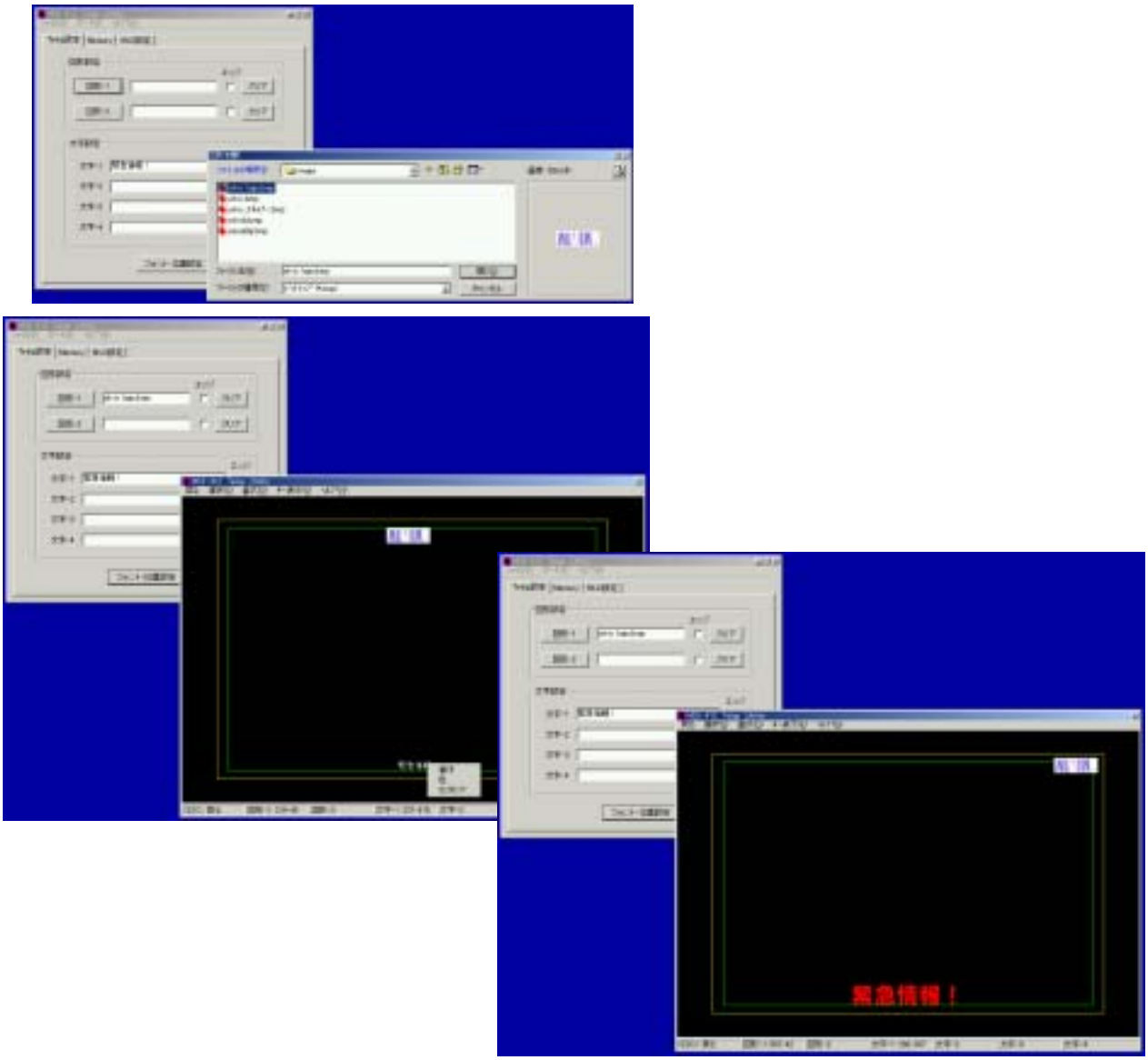
[Memory]タブ　： [書き込み]
テロップをボタンに対応した MSK-412 のメモリに書き込みます。

[MUX 設定]タブ ： [MUX の有無]

MUX が接続されているかどうかを指定します。
「なし」にすると、
[Memory]タブ ： [MUX チャンネル指定]
[MUX 設定]タブ： [MUX チャンネル名]
の２つが表示されません。

[MUX 設定]タブ ： [MUX チャンネル名]

MUX の各チャンネルに名前を付けます。



図形指定、文字入力後に［フォント・位置設定］をクリックすると黒背景にプレビュー表示し、文字については書体・色・センタリング等の指定ができ、マウスで自由にドラッグし位置指定ができます。

プレビュー画面全体を黒背景で表示し、安全ラインとして８５％（黄）と８０％（緑）のラインを表示してます。

メモリーへの転送時間ですが、書込みメモリの容量（黒の連続度合がどの程度あるか）により変化しますが、最小で約３０秒くらい、最大で約６分くらいかかります。

２）ＲＳ－４２２Ａコネクタ仕様

D-sub９Pin　male　（勘合ネジ　M2.6×0.45）

1	――――
2	ＴＸＤ－
3	ＲＸＤ＋
4	ＳＧ（ＧＮＤ）
5	――――
6	ＳＧ（ＧＮＤ）
7	ＴＸＤ＋
8	ＲＸＤ－
9	――――

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒９５９－０２１４
新潟県燕市吉田法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８